AGC レポート
山岳地理クラブ会報

VOL　1
2007 年 8 月号
発行 2007 年 7 月 25 日
日本山岳会　山岳地理クラブ
URL●www.jac.or.jp/doukoukai/

## 会報発行にあたって

代表　北野　忠彦

山岳地理クラブ（以下 AGC とする）は 2001 年の発足以来、月 1 回の例会の他は、時折例会で提案されたテーマ山行「相模の基線探索・近辺の一等三角点網探索・読図山行」などをおこなってきましたが、組織としては極めて緩いものであったため、クラブの行動記録は特にまとめてはいませんでした。

2002 年 5 月、日本山岳会 100 周年記念事業の一環として、中央分水嶺踏査が提案され、わが AGC もこれに参画することとし、甲子峠から大川峠の間を担当し、2004 年から 20 余回におよぶ踏査の結果、2006 年 5 月に踏査を完了しました。その後、担当区間外の未踏査区域外の踏査にも参加し、延べ回数はさらに加算されています。この中央分水嶺踏査活動を通して、AGC としての活動記録を残したいとの思いが高まってきました。また、例会の欠席者に対しても、例会の内容を例会報告の形で伝える必要があるとの意見もでてきました。

これらの意見を受けて 7 月の例会で、会報を発行することに意見が一致し、とりあえず、例会報告のまとめを今井さん、編集を近藤さん、報告発送を平野さんが担当することになりました。タイトルは「AGC レポート」になります。今後、AGC 関連報告や、山行報告など、積極的にお寄せ願いたいと思います。また、中央分水嶺踏査については、「報告書」への記録報告者が中心となって、より詳細な記録を報告していただければと思います（これは個人的には別にまとめたほうがよいと思っています）。

秘峰、上海岳に挑んだ踏査隊員（大川峠にて）2005／7

## タイトルは　「AGC レポート」　に決定

7 月の例会にて、出席者とタイトル名について討議いたしました。

「AGC レポート」は準備号に仮につけたものですが、このタイトルでよいのではないか　という意見が多数ありましたので、このまま「AGC レポート」を採用することに決まりました。

会報全般にわたっての内容や、ご意見　ご提案　は随時受付ていますので、どしどしお寄せください。

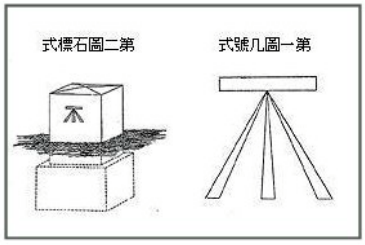
なお、発行は例会の一週間前に会員の手元に届くようにしたいと思います。毎月例会の 1 週間後（第二水曜日）を原稿の締切日にしたいと思いますので、宜しくご協力ください。また編集の都合上できる限りデータ（word もしくは.txt）でお願いいたします

（編集担当・近藤）

## コラム　高低測量・几号水準点について

内務省では 1876 年（明治 9）頃から高低測量(水準測量)を開始しました。この測量で用いられた標石が各地に残存しています。

「几」と書いて「き」と読みます。広辞苑によれば几は机の意味があります。この標石に彫られた記号が三脚についた机に似ており、こう呼ぶのかもしれません。高低几号または几号高低標とも漢字の「不」に似ているので不号水準点ともいわれています。いずれにしても内務省が地図つくりを試みていた当時の水準点標石で 1876 年（明治 9）の内務省（内務卿：大久保利通）の布達によると独立した標石のほかに建物、鳥居などの永久構造物に刻印された場合もあります。




（中略）

「不」の刻印はいずれの事例でも不の字横棒が 7～8 センチメートル、縦棒が 8～9 センチメートル程度になっています。不の字の横棒の切り込みに標尺を立てるための器具を固定して使うようになっています。不の字が傾斜面にあっても鉛直方向から 30 度くらいまでなら設置可能だそうです。しかし水平面に「不」が刻印された事例もありこの場合は中心に標尺を立てたか、あるいは三角点のように位置を特定するために設置されたということも考えられます。

当時の測量方式は江戸時代からのフランス式にかわりオランダ式もありましたが内務省ではイギリス式が採用されました。いまでもイギリスには同形の標石が街角に残っており、また標尺固定器具も使われています。日本では 1876 年(明治 9)に東京、塩竈間の水準測量で使われたのが最初です。その後地図作成は陸軍に移され測量方式もドイツ式に替わりました。

参照：例会配布資料より
(http://uenisi01k.at.infoseek.co.jp/s100kigousuijun.html)

（注）9 月 9 日に予定している第 1 回の読図講座では、都心に在るこの几号水準点を幾つか廻ります。

## ☆　読図講座の開始　☆

**第１回は９月９日（日）に催行予定**

　読図研修を 9 月９日　から開始いたします。
準備号に概略内容を掲載いたしましたが、概ねこの計画で進める予定です。第１回は　平地の読図（平地１）　として都内の水準点、経緯度原などを、地形図を読みながら方位と距離を頼りに巡る計画です
**日時**：2007 年 9 月 9 日（日）　AM9：00　（小雨決行）
**集合**：地下鉄　都営浅草線「泉岳寺」A4 出口
**行程**：集合地・・高輪木戸跡（几号水準点）以降（几）と省略・・泉岳寺・・白金台覚林寺（几）・・白金西光寺（几）・・015-005 号道路水準点・・一等水準点・・芝東照宮（几）・・日本経緯度原点・・一等三角点（東京大正）・・ロシア大使館前（几）・・神谷町八幡神社（几）・・愛宕山（三等三角点）・・芝愛宕神社（几）・・日本水準原点・・（コースは状況により変更する場合があります、解散地付近にて反省会（場所未定）
**持参品**：2.5 万地形図（東京西南部、東京南部、東京首部）（拡大コピーをお勧め）コンパス、筆記具、無線機（ある方のみ）高度計（ある方のみ）GPS 持参してもかまいませんが、可能な限り GPS に頼らないようお願い致します）
8 月の例会で詳細の説明をいたしますので、地形図を持参ください。なお第 2 回は障害物のない平地（田園地帯）での読図を予定しています

## 会員の名簿（パーソナルデータ）について

**今井秀正**

　新年度に入り、会員名簿を整理することになりました。
今までの名簿は山行時などで、万が一緊急を要する事態が生じた時の連絡先についての記載がありませんでした。この機会に名簿内容を見直す事になりました。
　個人情報保護という観点からは相反することですが、必要不可欠という判断です。ご理解くださる様、お願いします。
　追加する主な内容は、緊急時の連絡先のお名前と電話番号、また山行時の傷害特約を含む保険に関する情報、生年月日、血液型等です。
　パーソナルデータ調査様式を同封しますので、記入の上、提出下さい。

**書式見本**

　提出は郵送、または fax.で平野彰会員までお願いします。
〒330-0065　**さいたま市浦和区明神** 2-14-3-503
fax　048-834-5235

## 行きましょう！　月例山行計画のお知らせ

9 月 9 日に第 1 回の読図講座が開始されます。今回は都会のど真ん中のウオ―キングです。詳細は上記、**読図講座の開始**　をご覧ください。

## 行ってきました！　会員の山行報告

6 月 23～24 日に科学委員会主催の探索山行「戸隠・飯綱に山岳信仰の原点を訪ねる」に参加しました。AGC からも６名ほどが参加し戸隠神社の宿坊で飯縄信仰の歴史を学んだ。飯縄神社は各地に在るそうで、2001 年に AGC のフィールドワークで相模野基線を訪ねた際、基線の東側にある高尾山（長津田町）の一等三角点の脇に飯縄社があるのを思い出し、さらに私の住んでいる近くの座間神社がかつては飯綱神社と呼ばれていたことを知り、不思議な縁を感じた。翌朝中社にてお神楽を鑑賞。天の岩戸の舞いの迫力に感動したのち、霊験あらたかな飯縄山に登った。（片野スミ子・記）

## 図書・資料の紹介

◆新刊：山岡光治著　**地図に訊け**
ちくま新書　筑摩書房　￥700-
　第 4 章地図情報は正確か・昭和天皇のご指摘の項目に会員遠山氏の調査の事が掲載されています
◆新刊：青山千彰著　**山岳遭難の構図**
東京新聞出版局　￥1,700-
　やや硬い内容ですが道迷い事故を防ぐための PLP 法の提案がユニーク。（近藤・記）

## 例会の議事録

2007 年 7 月 4 日（水）19：：00～20：30　於：ﾙｰﾑ JAC 集会室-B　出席 9 名（北野、平野、近藤、大西、片野、上田、半田(明)、羽鳥、今井）（順不同）
**内容**　1、ﾊﾟｰｿﾅﾙﾃﾞｰﾀに基づく名簿様式について説明（今井）　2．第 1 回読図研修のﾙｰﾄを地図上で確認。実習は 9 月 9 日に行う。集合は都営地下鉄「泉岳寺」駅下車Ａ4 出口午前9時とする。(北野)　3．会報の発行提案への賛成多数により、今月から始める。名称は「ＡＧＣレポート」とし、近藤会員が主導する。試作の「ＡＧＣレポート　ＶＯＬ．０」が披露された。会報の郵送は平野会員が担当する。（近藤）　4．図書室の歴史的価値がある5万分の1の地図の整理が必要と思われる。管轄している図書管理委員会に打診してみる。(近藤)
終了後は「鮨の家」にて懇親会(8名)　　（記録･今井）

## お知らせ

**◆会計より**
　2007 年度の会費を未納の方はすみやかに納めください
　年会費　￥1,000-
　会計担当　高橋まで（連絡先 03-3353-4501）
**◆次回ミーティング**
日時　8 月 1 日（水）　18：30 から
場所　山岳会　ルーム
テーマ：：読図研修の詳細
ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ終了後の懇親会も是非出席ください

**◆編集後記◆**
　この会報が皆さんの手元に届くころは、梅雨が明けていることと思います。いよいよ夏山シーズンの到来ですね
皆さんいろいろ計画されていることと思いますが、くれぐれも事故の無い様、元気で活躍してください。皆さんの山行報告を楽しみにしています。（kon）

AGC レポート　vol-1　2007 年 7 月 25 日発行
発行：日本山岳会・山岳地理クラブ
〒102-0081 東京都千代田区四番町 5-4 日本山岳会　気付
TEL　03-3261-4433　　FAX　03--3261-4441
編集担当：近藤　　E-mail：info@hikarikon.com